

第1学年*組 保健体育科（体育分野）学習指導案

教諭 杉浦 拓郎

1 単元名 球技（ゴール型） 種目 サッカー

2 目標

- 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開することができるようとする。
(技能)
- 主体的に取り組みむとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようすることなどや、健康・安全を確保することができるようとする。
(態度)
- 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
(知識、思考・判断)

3 指導に当たって（男子*名、女子*名、計*名）

本クラスは、運動に対して積極的に取り組む生徒が多くいる。しかし、生徒によってはサッカー特有の足でボールを扱う技能に差が大きいため、楽しめていない生徒がいるのが課題である。そこで、基本的なボール操作技能の習得以外にも、得点シーンに絡める様に空いてるスペースを上手に活用できる動きの獲得に重点を置いた指導を行う。その為に本単元では、スポーツ鬼ごっこを活用して、ゴール型種目特有の空いてるスペースを攻めるポジション取りの練習を行い、得点に絡むポジション取りやパス回しをして、ゲームを組み立て、多くの生徒がサッカーのゲームを楽しめる様に授業を展開していきたい。

4 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●球技の学習に自動的に取り組もうとしている。 ●フェアなプレイを大切にしようとしている。 ●自己の責任を果たそうとしている。 ●作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ●互いに助け合い教え合おうとしている。 ●健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●提供された作戦や戦術から自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ●作戦等の話し合いの場面で、合意を形成するための適切な関わり方を見付けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴール型では、ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術などの名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ●運動観察の方法について、理解したことを言つたり書き出したりしている。 ●試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

5 学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。 ②競技のルールを守ってフェアプレイで取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己やチームの課題を適切に設定している。 ②個人の課題やチームの課題を改善するために、適切な練習方法を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な技能を練習やゲームで活かそうとしている。 ②見方や相手の動きに応じて、適切なポジショニングを選択し、攻防を展開できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①キックの種類やポジションの名称、その行い方について理解している。 ②審判の方法を理解し、実践できる。

6 指導と評価の計画

	学習のねらい・活動	評価計画			
		関心意欲態度	思考判断	技能	知識理解
はじ め 50 分 × 1	<p>○基本的なボールの扱い方を身につけよう。 ○用具の準備・片付けの仕方を確認しよう。</p> <p>1 オリエンテーション • ルールの確認・審判法 • 基本的なボールの操作方法 • ボールの蹴り方の種類の確認 (インサイド・アウトサイド・インステップ)</p>	①			①
な か 1 50 分 × 3	<p>ねらい①</p> <p>○正確なパスの仕方を身につけよう。 ○パスからシュートにつなげられる様になろう。</p> <p>1 パス練習① • インサイドキック、アウトサイドキック、インステップキック トランプ練習 • トランプゲーム</p> <p>2 パス練習② • パスゲーム (3対1, 4対2) • ミニゲーム (5対5)</p> <p>3 シュート練習 • ドリブルシュート、パスをトランプしてシュート パスをダイレクトにシュート</p> <p>授業の前半をパス、シュートの練習、後半をミニゲームとする。</p>			①	①
な か 2 50 分 × 3	<p>ねらい②</p> <p>○空いてるスペースを上手に攻めよう。</p> <p>1 スポーツ鬼ごっこを活用してポジション取り • スポーツ鬼ごっこルール確認 (別紙参照) • 8人グループでチーム活動 (8人×5グループ) • ルール確認の為のショートゲーム (3分)</p> <p>2 スポーツ鬼ごっこ • ポジション取りの意識付け • 4対3ゲーム (10秒ゲーム) 攻撃4人、守備3人で空いたスペースを攻める練習。 余りの1人は、空いてるスペースを攻撃側に伝える。 (攻撃時・防御時のお互いの声かけ)</p> <p>3 スポーツ鬼ごっこ • 空いてるスペースを探す視野を広げる練習</p> <p>ルールを確認した後、ゲームに入っていく。</p>	②		②	
ま と め 50 分 × 3	<p>○競技会を行い、勝敗の喜びを味わおう。</p> <p>1 リーグ戦 (10人×4グループ) • 勝敗に関わらず、試合の結果について、チームの課題、作戦を話し合って、次の試合に活かす様に取り組む。</p> <p>審判法の確認 • 基本的なルールを覚えて、自分たちで試合の運営をする。</p>	①	②		②

(1) 本時のねらい

○スポーツ鬼ごっこを通して、空いてるスペースの上手な攻め方を考えることができる。

(2) 準備するもの デジタイマー、電子ホイッスル、ビブス、作戦盤、得点板、

(3) 展開 (6／10)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点、方法
はじめ 10分	1 用具の準備 2 出席確認 3 本時のねらいと学習内容の確認 4 準備体操（じゃんけん鬼ごっこ） ○ スポーツ鬼ごっこを通して、空いてるスペースの上手な攻め方を考えよう。	・協力して準備するよう助言する。 ・衝突事故を避ける為に、じゃんけん鬼ごっこで、周りの人の動きに注意しながら動くように助言する。	<関心・意欲・態度①> 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。
なか 35分	4 安全確保の為、スポーツ鬼ごっここのルールの再確認をする。 (攻撃) ・タッチされない様にお宝をとる。 ・タッチされたらスタートに戻って再スタートする。 ・ラインアウトも戻る。 ・相手陣地のSエリアはタッチされない。 (防御) ・両手でタッチする。 ・お宝周りのTエリアに入らない。 5 スポーツ鬼ごっこ ・前半(4分)、作戦タイム(2分)、後半(4分)でゲームを行う。 ・7人がコートに入り残りの一人はコートの外から指示を出す。 ・作戦盤を用いて作戦タイムを活用する。	◇馴染みのない新しい種目の為、衝突事故が起きない様に毎時間基本的なルールの徹底を再度確認する。 ・スポーツが楽しく行える為には、ルールをしっかりと守る事が大前提であることを確認する。 ・試合運営については、A対B、C対Dで試合を行っている時は残りのEチームが得点や審判等を行うことを説明する。 ・作戦タイムを意図的に作ることで、生徒同士のコミュニケーションをとるよう助言する。 ◇相手の動きを伝えながら、空いてるスペースを気づける様に声かけをする。 ・作戦盤を用いることで、視覚的に空間の把握をしやすくし、あいてるスペースを上手な攻め方を考えるよう促す。	<運動の技能②> 見方や相手の動きに応じて、適切なポジショニングを選択し、攻防を展開できる (学習時の観察)
まとめ 5分	6 片づけ 7 集合、整理運動 8 本時のふり返りと次時の予告 9 挨拶	・全員で協力し、安全を配慮して片づけるよう助言する。 ・頻繁にストップ＆ダッシュを繰り返す為、しっかりと整理運動を行い、怪我の防止に務める。 ・どういった展開が得点に繋がりやすかったか生徒の意見を聞き、作戦盤を用いて、全員にわかりやすいように説明する。タブレット型情報端末を利用して、参考映像を見せながら、次の工夫の仕方に役立たせるよう促す。 (例) 数的有利、意図的なおとり役、攻防の切り替え、ポジションチェンジ等	<関心・意欲・態度①> 用具の準備・片付けに積極的に取り組んでいる。

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて